



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 NSユニテッド海運株式会社
 コード番号 9110 URL <https://www.nsuship.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷水 一雄
 問合せ先責任者 (役職名) 経理グループリーダー (氏名) 小林 勝利 TEL 03-6895-6407
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	196,863	36.3	29,957	49.1	31,394	60.1	25,358	60.2
2022年3月期第3四半期	144,416	42.1	20,089	363.7	19,608	565.5	15,824	187.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 25,493百万円 (54.7%) 2022年3月期第3四半期 16,475百万円 (217.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	1,076.02	—
2022年3月期第3四半期	671.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	282,477	135,196	47.9
2022年3月期	274,871	118,189	43.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 135,196百万円 2022年3月期 118,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	95.00	—	190.00	285.00
2023年3月期	—	170.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	185.00	355.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	25.0	32,000	19.8	32,000	20.3	27,000	14.5	1,145.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、 除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	23,970,679株	2022年3月期	23,970,679株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	404,567株	2022年3月期	404,351株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	23,566,225株	2022年3月期3Q	23,566,519株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。なお、本日付けで別途「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますので併せてご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2023年1月31日（火）に当社ウェブサイトに掲載致します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	増減額 (増減率)
売上高	144,416	196,863	52,447 (36.3%)
営業利益	20,089	29,957	9,868 (49.1%)
経常利益	19,608	31,394	11,786 (60.1%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,824	25,358	9,534 (60.2%)

為替レート(円/US\$)(9ヶ月平均)	110.56	135.33	24.77 (22.4%)
燃料油価格※(US\$/MT)(9ヶ月平均)	471	670	199 (42.2%)

※適合油を含む全油種平均価格を基に算出

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日までの9ヶ月間)の売上高は1,968億63百万円(前年同期比36.3%増)、営業利益は299億57百万円(前年同期は200億89百万円の営業利益)、経常利益は313億94百万円(前年同期は196億8百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は253億58百万円(前年同期は158億24百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

当第3四半期連結累計期間の外航海運事業において、ドライバルクにつきましては、中国のゼロコロナ政策や、新型コロナウイルス感染症に対する港湾の検疫体制緩和に伴う滞船の解消等が市況の下押し要因となり、当期の平均用船料は全船型において前年同期を下回りました。ケーブ型撒積船(18万重量トン型)市況は、7月までは堅調に推移しましたが、8月以降軟化し、一時は主要5航路平均用船料が3千ドルを下回るまで下落しました。その後も市況の回復は限定的となり、4~12月平均は約1万7千ドルと、前年同期を大きく下回りました。パナマックス型以下の中小型撒積船(2~8万重量トン型)は、ロシア・ウクライナ情勢を背景に石炭調達先がロシアからシフトしたことによる輸送トンマイルの増加や、穀物やマイナーバルクの堅調な荷動きが市況を支えし、安定した推移となりました。また、VLGC(大型LPG運搬船)につきましては、米国からのLPG輸出量増加が船腹需給を引き締め、市況は高水準で推移しました。

このような状況下、長期契約による安定収益に加え、期中に進行した円安が収益を大きく押し上げ、前年同期比で増収増益となりました。

内航海運事業において、ドライバルクにつきましては、鉄鋼関連では、鋼材の輸送量は前年同期比でほぼ横ばいとなりましたが、自動車生産における半導体の供給制約の影響を受け鉄鋼原料の輸送量は前年同期比で減少しました。セメント関連貨物は、建設需要の伸びにより輸送量は前年同期比で増加した一方、電力関連貨物につきましては、火力発電所の稼働率低下等を背景に、輸送量は前年同期比で減少しました。タンカーにつきましては、LNG輸送は新規航路における輸送が本格化したことで輸送量は前年同期比で増加し、LPG輸送につきましても効率運航に努めたことで輸送量は前年同期比で増加しました。

このような状況下、内航海運事業の業績は前年同期比で増収増益となりました。

なお、当社グループの事業構成は海上輸送業がほぼ全体を占めており、連結売上高に占める外航海運事業の割合は約9割、内航海運事業の割合は約1割となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,824億77百万円となり、前連結会計年度末比76億6百万円の増加となりました。このうち流動資産は主として現金及び預金の増加により185億98百万円増加しました。固定資産は主として船舶の減少により109億92百万円減少しました。

負債合計は前連結会計年度末に比べ、94億1百万円減少の1,472億81百万円となりました。流動負債は主として短期借入金の増加により101億53百万円増加しました。固定負債は主として長期借入金の減少により195億54百万円減少しました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金支払の差引による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ170億7百万円増加し1,351億96百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	通期			
	前回予想	今回予想	前回予想比	
			増減額	増減率
売上高	217,000	245,000	28,000	12.9%
営業利益	29,000	32,000	3,000	10.3%
経常利益	30,000	32,000	2,000	6.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26,000	27,000	1,000	3.8%

※前回予想（2022年10月31日）及び今回予想における第4四半期平均の対米ドル円換算率及び燃料油価格の前提は以下の通りです。

第4四半期前提	前回予想	今回予想
対米ドル円換算率	US\$=135.00円	US\$=128.33円
燃料油価格 ※	US\$660/MT	US\$520/MT

※適合油を含む全油種平均価格を基に算出

第3四半期連結累計期間の業績、及び第4四半期以降の当社を取り巻く事業環境を踏まえ、2022年7月29日付けで公表した2023年3月期通期の連結業績予想を上述の通り修正致します。第4四半期以降の前提条件につきましては、対米ドル円換算率を128.33円、燃料油価格は平均消費価格（全油種）をトン当たり520ドルと予想しております。

なお、当社は株主への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、年間配当性向を「連結業績ベースの概ね30%」とする方針をとっております。

2023年3月期の期末配当につきましては、1株当たり185円、中間配当と合わせた年間配当金を1株当たり355円と予想しております。

本日、別途「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」を開示しておりますので併せてご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,265	46,099
受取手形、営業未収金及び契約資産	29,084	29,862
有価証券	9,000	—
棚卸資産	12,148	13,736
前払費用	4,110	5,560
デリバティブ債権	839	453
その他流動資産	3,145	3,483
貸倒引当金	△31	△32
流動資産合計	80,561	99,160
固定資産		
有形固定資産		
船舶（純額）	181,526	169,169
建物（純額）	297	283
土地	397	397
建設仮勘定	2,218	2,857
その他有形固定資産（純額）	110	159
有形固定資産合計	184,548	172,865
無形固定資産	1,909	1,676
投資その他の資産		
投資有価証券	3,945	3,845
長期貸付金	24	11
繰延税金資産	1,579	2,549
退職給付に係る資産	1,743	1,810
その他長期資産	562	561
投資その他の資産合計	7,853	8,776
固定資産合計	194,310	183,317
資産合計	274,871	282,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	12,315	12,674
短期借入金	15,323	25,099
リース債務	4,380	4,120
未払金	91	305
未払費用	190	321
未払法人税等	4,991	3,599
契約負債	3,288	5,104
賞与引当金	627	115
役員賞与引当金	68	19
デリバティブ債務	1,167	554
その他流動負債	5,715	6,397
流動負債合計	48,155	58,308
固定負債		
長期借入金	103,991	83,487
繰延税金負債	643	808
特別修繕引当金	3,761	4,533
退職給付に係る負債	131	145
その他固定負債	0	0
固定負債合計	108,527	88,973
負債合計	156,682	147,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,300	10,300
資本剰余金	17,181	17,181
利益剰余金	90,527	107,400
自己株式	△996	△997
株主資本合計	117,013	133,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,373	1,299
繰延ヘッジ損益	△240	△79
為替換算調整勘定	△61	5
退職給付に係る調整累計額	105	87
その他の包括利益累計額合計	1,177	1,312
純資産合計	118,189	135,196
負債純資産合計	274,871	282,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高		
海運業収益及びその他の営業収益	144,416	196,863
売上原価		
海運業費用及びその他の営業費用	120,124	161,926
売上総利益	24,292	34,937
一般管理費	4,203	4,980
営業利益	20,089	29,957
営業外収益		
受取利息	3	10
受取配当金	117	220
持分法による投資利益	—	2
為替差益	872	1,465
デリバティブ利益	80	572
その他営業外収益	181	81
営業外収益合計	1,253	2,350
営業外費用		
支払利息	1,025	888
持分法による投資損失	5	—
デリバティブ損失	687	4
その他営業外費用	16	20
営業外費用合計	1,734	913
経常利益	19,608	31,394
特別利益		
固定資産売却益	363	332
投資有価証券売却益	—	77
特別利益合計	363	410
特別損失		
減損損失	—	994
特別損失合計	—	994
税金等調整前四半期純利益	19,971	30,810
法人税等	4,147	5,453
四半期純利益	15,824	25,358
親会社株主に帰属する四半期純利益	15,824	25,358

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	15,824	25,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△74
繰延ヘッジ損益	682	161
為替換算調整勘定	△12	△16
退職給付に係る調整額	△73	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	34	82
その他の包括利益合計	651	135
四半期包括利益	16,475	25,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,475	25,493

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	126,512	17,905	144,416	—	144,416	—	144,416
外部顧客への 売上高	126,512	17,905	144,416	—	144,416	—	144,416
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	6	6	275	282	△282	—
計	126,512	17,911	144,422	275	144,698	△282	144,416
セグメント利益	19,005	1,070	20,076	11	20,086	3	20,089

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	外航海運事業	内航海運事業	計				
売上高							
顧客との契約 から生じる収 益	177,119	19,744	196,863	—	196,863	—	196,863
外部顧客への 売上高	177,119	19,744	196,863	—	196,863	—	196,863
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	9	9	278	287	△287	—
計	177,119	19,753	196,872	278	197,150	△287	196,863
セグメント利益	28,673	1,282	29,955	△0	29,955	2	29,957

(注) 1. 「その他」の区分には、情報サービス業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「内航海運事業」セグメントにおいて、船舶について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、特別損失として減損損失を計上しています。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において994百万円です。